

# はりま しょうがっこう ねん 播磨小学校150年のあゆみ

はりま しょうがっこう は 2022 (令和4) 年 で 創立150周年 を 迎えました。この学校での思い出を  
お持ちの方も 多いこと と思います。播磨町の小学校のみでなく、各市町でも 150周年 を  
迎える学校が たくさん あります。それは 1872 (明治5) 年 に 日本で 初めて 学校が 作られる  
「学制」という法律が でき、これにより 国民は だれでも 小学校教育 を 受ける こと になり  
ました。その時 開校した 学校が それに あたる から です。現在の 播磨町 には 4 つの 小学校  
がありますが、明治の 頃から それだけの 学校が あった わけでは ありません。ここからは  
小学校が できる までの 教育と、播磨小学校の 開校から 現在までの 移り変わり を 中心に  
見て いきましょう。

はりま しょうがっこう  
播磨小学校は すごく 歴史  
のある 学校 です。  
どのような あゆみ を して  
きたか、みなさん 見て くだ  
さいね。



はりま しょうがっこう  
播磨町 マスコットキャラクター  
「いせきくん」と「やよいちゃん」

## しょうがっこう 小学校が できる まで

はりま しょうがっこう  
播磨町に 学校が できる までは、子どもたちは どのように して 勉強 していた の でしょう か。  
じだい すこ まえ  
時代を 少し 前にも どりして みましょう。

がっこう まえ てらこや い べんきょう  
学校が できる 前は、寺子屋と 言われる ところで 勉強 を して いました。  
べんきょう しゅうじ どくしょ さんじゅつ さんすう がくしゅう  
勉強 習字・読書・算術(算数)を 学習 した。  
べんきょう しかた せんせい て おし な く なんかい くりかえ れんしゅう  
勉強の 仕方 はじめは 先生が 手をとって 教え、馴れて 来ると 何回でも 繰返し 練習 した。  
きょうしつ ま つくえ ほん など ふでこ せいと も い  
教室 たたみの 間。机 や 本などは 筆子(生徒)が 持って 行った。  
ようぐ すざり ぶで ぶんちん てほん かみ そろばんなど しょう  
用具 硯箱、硯、筆、文鎮、手本、紙、算盤等 を 使用 した。  
じょし にんずう へ や べつ せき  
女子 人数は ごく わずか。部屋を 別に するか、席を かえる。  
じょし さいほう おし てらこや  
女子のために 裁縫を 教える 寺子屋 も あった。  
しけん げつまつ てほん み おぼ しら かんじ か しら  
試験 月末に 手本を見ずに、覚えて いるかを 調べた。漢字を 書かせて 調べた。  
そつぎょう そつぎょう なが もの ねんほど べんきょう せいせき わる たいがく  
卒業 卒業はないが 長い者で 6年程 勉強 した。成績が 悪いと 退学を させられる こと  
も あった。  
うんどう きのぼ など からだ  
運動 すもう、木登り等 で 体を きたえた。  
た れいぎさほう おも せんせい じょうきゅうせい うやま だいじ  
その他 礼儀作法が 重んじられ、先生や 上級生を 敬う ことが 大事だと された。



てらこや つくえ (こじんぞう)  
**寺子屋の机 (個人蔵)**  
 てらこや がくしゅう つか つくえ  
 寺子屋で学習に使う机は、  
 こじん ようい  
 個人で用意しました。



おし こ せんせい はか  
 教え子が先生のお墓を  
 たてるなんて、今では  
 いま  
 考えられないね。  
 かんが



ふでこづか おおなかぜんぶくじ え どじだい  
**筆子塚 大中善福寺 江戸時代**  
 ふでこづか ししょう せんせい  
 筆小塚は、師匠 (先生) のお墓です。寺子屋では  
 せいと ふでこ よ せんせい たいへんそんけい  
 生徒は筆子と呼ばれていました。師匠は大変尊敬  
 ししょう な はか ふでこ  
 されており、師匠が亡くなると、そのお墓は筆子  
 た  
 が建てました。

## がくせい はりましょうがっこう げんざいち うつ 学制～播磨小学校が現在地に移るまで

### しょうがっこうはじ ころ ようす 小学校始まりの頃の様子

がっこう わか ひと てつきんこうしゃ ねんばい かた もくぞうこうしゃ おも う  
 学校といえは若い人は鉄筋校舎を、また年配の方は木造校舎を思い浮かべるのではない  
 しょうがっこう はじ ころ いま おも こうしゃ がっこう  
 でしょうか。しかし小学校の始まりの頃は、今で思うような校舎や、学校ではなかったよ  
 うです。

はりまちょう しょうがっこう がくせい おな めいじ ねん おおさわしょうがっこう おおさわ のぞえ ふたご  
 播磨町の小学校は「学制」と同じ 1872 (明治5) 年、大澤小学校が大澤、野添、二子、  
 ふるた ひがしなかの やまのうえ くいき ぜんぶくじ ほんじょうしょうがっこう ほんじょう みやにし こみや  
 古田、東中野、山ノ上を区域として善福寺に、また本庄小学校が本庄、宮西、古宮を  
 くいき ほんじょう あたら はじ ころ がっこう てら みんか ひと す いえ  
 区域として本庄に新しくつくられました。初めの頃の学校は、お寺や民家 (人が住む家)  
 つか  
 を使っていましたので、学校らしくありませんでした。先生は2名か3名でした。

もんぶしょう いま もんぶかがくしょう あたら きょうかしょ つく  
 文部省 (今の文部科学省) は、新しい教科書を作りつつありましたが、しばらくは、  
 てらこや つか つか がっこう はじ え どじだい  
 寺子屋で使っていたものが使われました。このように学校の始まりは、江戸時代からの  
 てらこや つづ かんが ほう じっさい いま がっこう かたち ととの  
 寺子屋の続きと考えた方がいいでしょう。実際、今の学校のような形を整えるのには、  
 じかん  
 まだまだ時間がかかることになります。



せきばん せきひつ ふ もの (こじんぞう)  
石板・石筆・布き物 (個人蔵)

いま えんぴつ け か  
今のノート・鉛筆・消しゴムの代わり  
つか しゅくだい か  
に使っていました。宿題もこれに書い  
て持って行きましたが、雨にぬれると  
も い あめ  
消えてしまいました。

おおさわしょうがっこうあと おおなか ぜんぶくじ  
大澤小学校跡 (大中・善福寺)

めいじ ねん がつ おおさわしょうがっこう ほんじょうしょうがっこう かいこう よくねん おおさわ  
1872 (明治5) 年11月に、大澤小学校と本庄小学校が開校しましたが、翌年には大澤  
しょうがっこう ほんじょうしょうがっこう わ めいじ ねん おおさわしょうがっこう  
小学校が3つに、本庄小学校も3つに分かれ、1877 (明治10) 年に、また大澤小学校  
ほんじょうしょうがっこう な もと  
と本庄小学校の名に戻りました。

がっこう はじ ころ ねんせい よ きゅう きゅう きゅう きゅう  
学校の始まりの頃は、1年生と呼ばれずに8級その上に7級そして6級…1級とな  
りました。しんきゅう ねんかん ほんとしかん ねんかん きゅう しんきゅう  
進級も1年間でなく、半年間でした。そのため1年間で2級ずつ進級するこ  
とができました。しかし最後に大きなテストがあり、合格しなければ上の学校に進むこと  
ができません。さいご おお ごうかく うえ がっこう すす  
がでできず、さらに半年間1級のままでした。明治時代はこのような落第制度がありました。

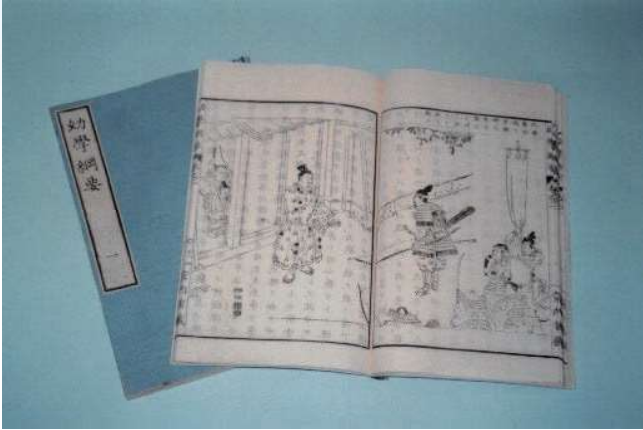
はりまちよう きろく めいじ ねん あえしょうがっこう  
ただ播磨町でははっきりとした記録がありません。1884 (明治17) 年の阿閑小学校か  
らやと記録が出てきますので、その頃から少しずつ学校らしくなってきたのでしょうか。

### <国が大事、天皇が大事> 日本の教育方針決まる

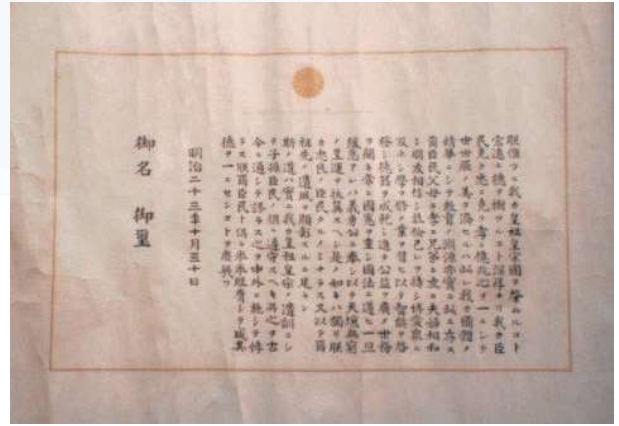
がっこう なに おし たいせつ とく こ そだ きょういくほうしん  
学校で何を教えるかは大切なことです。特に、子どもをどう育てるかという教育方針は、  
めいじ きょういく おな ころ かんが  
明治の教育でも同じでした。その頃はどのように考えられたのでしょうか。

めいじ ねん くないちよう てんのう こうしつかんけい ようがっこうよう しゅつぽん  
1879(明治12)年、宮内庁(天皇・皇室関係)から「幼学綱要」が出版されました。これが  
もと しゅうしん どうとく きょうかしよ もんぶしょう のち きょういくちよくご だ  
元になって、修身(道徳)の教科書ができました。文部省は後に教育勅語を出しますが、  
この「幼学綱要」が元になって作られたと言われています。

にほん くに てんのうちゅうしん たいせつ かんが きょういくちよくご てんのう ことば  
日本の国を天皇中心にまとめることが大切であると考えられ、教育勅語は天皇の言葉  
くに めぎ きょういくほうしん しめ めいじ ねん がつ あえしょうがっこう  
で国が目指す教育方針として示され、1891 (明治24) 年1月、阿閑小学校にもやってき  
ました。こうちようせんせい よ あ じどう しせい れい き ふく  
校長先生が読み上げ、児童はきちんとした姿勢で礼をしたまま聞きました。服も、  
とくべつ せんせい こ ちやくよう  
特別なものを先生も子どもも着用しなければなりませんでした。



ようがくこうよう 1879 (明治12) 年  
幼学綱要



きょういくちよくご 1890 (明治23) 年 (個人蔵)  
教育勅語

### まず 貧しかった村の様子

子どもは学校で勉強することが決められましたが、阿閉村(播磨町)をはじめ全国的に貧しい時代でした。村の人々は江戸時代から苦しい時代が続いていました。例えば、当時の大工の1日の給料は※40銭、それがやっと50銭になるのが明治30年代で、金儲けができない大変な時期でした。それにしてもお金がない時によく小学校をつくったものです。

1884 (明治17) 年に大澤小学校と本庄小学校の2校が合併して阿閉小学校の名になりました。阿閉村の役場は、1927 (昭和2) 年に新しく建てるまで、昔ながらの狭い場所で仕事をしていました。建て替える金がなかったのです。当時の教師は10名で、正教員は2名、後は補助員でした。1889 (明治22) 年に村長はいましたが、1896 (明治29) 年まで校長がいませんでした。校長の給料が高すぎるので、配置できなかったのです。これは他の村も同じでした。

※1銭は現在の200円位だが、お金とモノの価値が時代の流れの中で大きく変わっているので一概に言えない。例えば米が10kgで1円位、卵1個で1銭位、味噌が1kgで4銭位、砂糖1kgで12銭位で、生活に必要な食品をはじめ他の品物も今より割高だったようである。(諸説あり)

### たか 高かった先生の給料

阿閉村としては新しい道路や病院もほしかったのですが、なかなかできませんでした。また運悪く1899 (明治32) 年に喜瀬川が荒れ、県から補助金をもらって復旧作業をしています。役場が一番困っていたのは先生の給料の支払いでした。村長(今の町長)よりも高かったのです。国としては、先生を偉い人にしておく必要があります、給料を高くした



そんちよう たいへん  
村長さん 大変だね。

のです。村のお金の 30 パーセント以上が教育  
費、その内70パーセントが給料でした。  
学校の土地を買うお金や校舎を建てるお金を  
合わせると、たくさんのお金が必要でしたので、村長は特に大変でした。

### 学校に子どもが来ない！

明治時代の学校は、今と違って学校に来る児童が多くありませんでした。その頃の人たちは、子どもを学校で勉強させても役に立たないと思っていたのでしょうか。

兵庫県は、1898（明治31）年各市町村に児童を学校に行かせるよう厳しい命令を出しました。しかし努力しても、63パーセントにしかありませんでした。その頃の阿閉村（播磨町）は、児童数は500人以上でしたが、全員が登校すれば学校が困るので、あまり努力をしていませんでした。しかし1900（明治33）年に新校舎が完成してから変わります。よい村を表彰したりして競争もさせました。また役場の職員が家に出向いて、出席を呼びかけています。記録には親の程度が悪いとまで書いてありました。

児童が学校に登校できない第1の理由は貧しさでした。家庭で児童は大切な働き手でした。授業料も家が出していました。しかし、1900（明治33）年の授業料廃止の厳しい呼びかけがあり、年々学校に来る児童が増えてきました。



がっこう いく  
学校に行きたくても行けな  
ったんだ…。  
いえ てつだ  
家の手伝いをしなくちゃ！

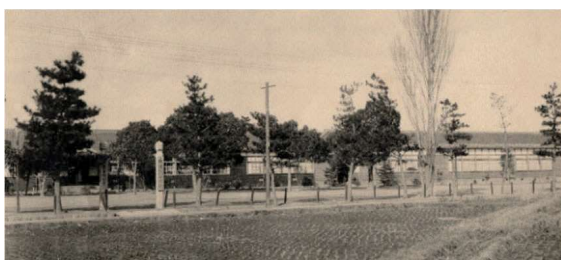
じゅぎょうりょう  
それに、授業料まで  
はらえなんて！



### 現在地の播磨小学校～戦前・戦中まで

#### 播磨小学校が今の場所に建てられる

1900（明治33）年に阿閉尋常小学校（当時の校名）が今の播磨小学校の場所に建てられました。木造1階建てでした。残念ながらそれより前の学校の場所はよくわかっていません。



あ え じんじょうしょうがっこう いま  
阿閉尋常小学校が今の  
はりましょうがっこう ばしょ うつ  
播磨小学校の場所に  
った記念に、クスノキが  
きねん  
8本植えられました。

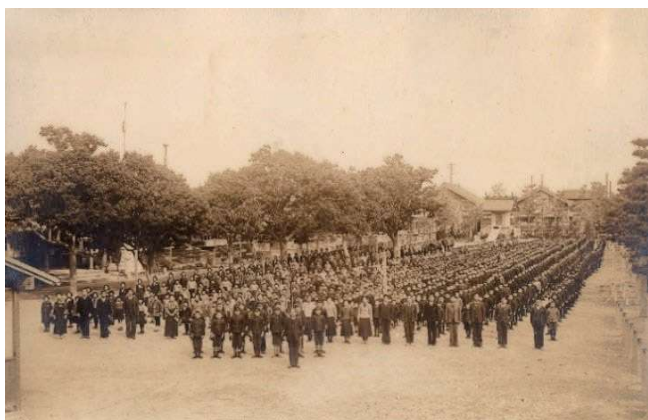


もくぞう かいだ こうしゃじだい ちか うんどうじょう  
木造1階建て校舎時代は、クスノキの近くまであり、運動場も  
クスノキから前の道まで、今よりずいぶん狭かったようです。

## 戦争への道、そして終戦

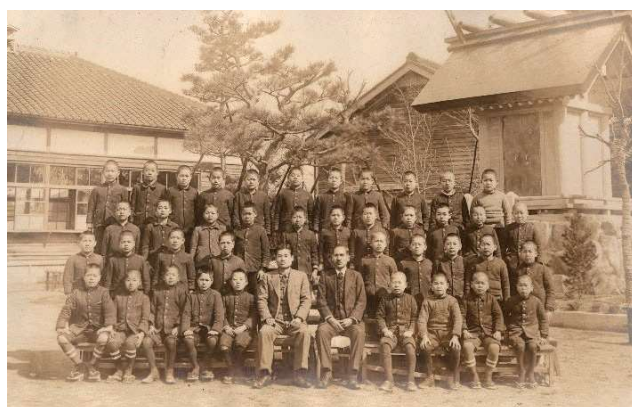
明治時代も末になると運動会が開かれ、入学式が親と一緒にやられるようになり、やっと学校らしくなってきました。しかし、天皇中心とした国を大切にする考えが強くなってきたのもこの頃で、後の教育にも暗い影を落としました。

日本は戦争への道を歩むこととなり、教科書も変わってきました。学校も戦争のことを中心に考えられるようになり、特に1941(昭和16)年、太平洋戦争となつてからは、国中心・戦争中心の考えがさらに強くなり、より戦争の道へと進むこととなります。戦争が激しくなると、学校もまともに教育をすることがほとんどできなくなりました。



ちょうれい ようす 1940 (昭和15) 年

クスノキが8本あったので、楠木正成と数えられました。



ほうあんでん 1940 (昭和15) 年

後ろ右側に見えるのが奉安殿です。奉安殿は、皇紀(神武天皇即位)2600年を記念して建てられ、天皇と皇后の写真が飾ってあります。朝学校に来たら、必ず礼をしてから教室に入りました。

えっ、「なぎなた」って武器でしょう？  
そんな物を持って運動会をしたの！



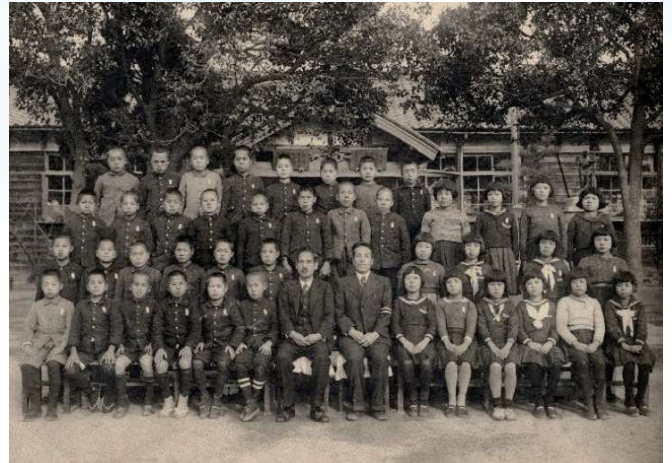
うんどうかい 1940 (昭和15) 年頃 (個人蔵)

女子児童が「なぎなた」の動きを見せています。  
このように学校教育にも戦争は暗い影を落としました。

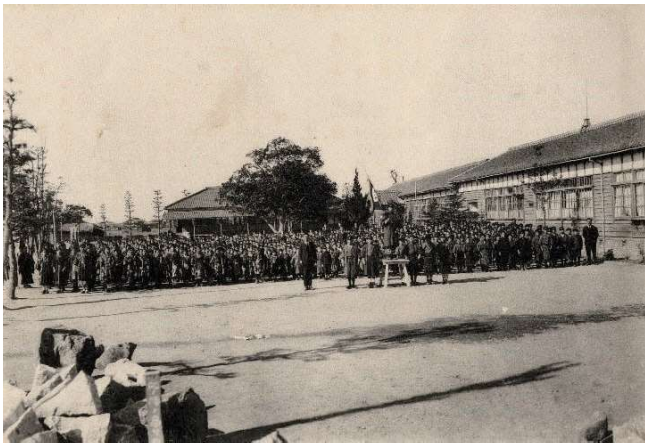
その頃の様子を写真で見てください。



あ え じんじょうこうとうしょうがっこうそつぎょうしゃしん しょうわ ねん  
**阿閉尋常高等小学校卒業写真 1928 (昭和3) 年**  
 そつぎょうしゃしん は ぎ き  
 卒業写真のため、晴れ着を着ているのでしょ  
 うか。この頃の服装は、着物が多かったよう  
 です。



あ え こくみがっこうそつぎょうしゃしん しょうわ ねん  
**阿閉国民学校卒業写真 1942 (昭和17) 年**  
 ひだり しゃしん しょうわ ねん くら ふくそう  
 左の写真(昭和3年)と比べて、服装もずい  
 ぶん変わりました。



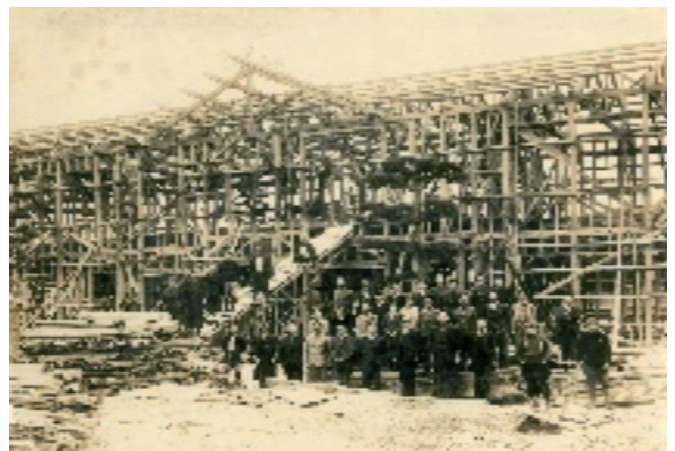
あ え じんじょうこうとうしょうがっこう しょうわ ねん  
**阿閉尋常高等小学校 1929 (昭和4) 年**  
 こうてい せいれつ うし み  
 校庭に整列しています。後ろに見えるのは、  
 その頃の講堂です。



あ え じんじょうこうとうしょうがっこう くら ぶりくじょうゆうしょうきねんしゃしん  
**阿閉尋常高等小学校倶楽部陸上優勝記念写真**  
 しょうわ ねん  
 1933 (昭和8) 年



せんそうちゆう あたら  
 戦争中だけど新しい  
 校舎を建てんだね。



もくぞう かいだ こうしゃけんちくふうけい ねん しょうわ ねん  
**木造2階建て校舎建築風景 1943年(昭和18年)**

1944（昭和19）年、新しい2階建て木造校舎が完成します。校舎完成間もない1945（昭和20）年、多くの人々が亡くなるなど多大な犠牲を出した戦争も、8月に終戦を迎える

ことになります。

### 戦後～昭和後期（蓮池小学校ができるまで）

戦争が終わり、教育も新しい時代を迎えることになります。播磨町の学校はどのように変わってきたのでしょうか。

1947（昭和22）年に教育のための新しい法律ができ、義務教育として小学校6年、中学校3年の男女共学になりました。内容も国や天皇が中心ではなく、国民が中心となり一人一人を大切に教育へと変わってきました。

### 阿閑小学校時代

1946（昭和21）年、阿閑国民学校から阿閑小学校に名前も変わりました。



戦争が終わり、奉安殿も取り壊されました。

いよいよ新しい教育が始まるよ。



平和の大切さを  
学習しようね。



阿閑小学校木造2階建て校舎



クスノキは運動場を広くするために  
 1948（昭和23）年に7本切られ、  
 1本だけになりました。



クスノキ 昭和40年代

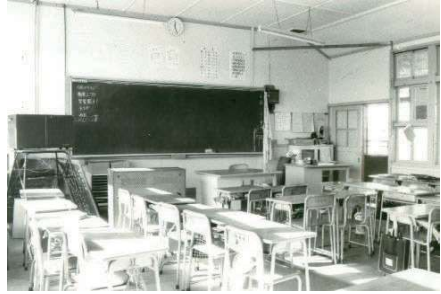
この木造校舎で勉強された方もたくさんいらっしゃると思います。校舎の中に入ってみましょう。



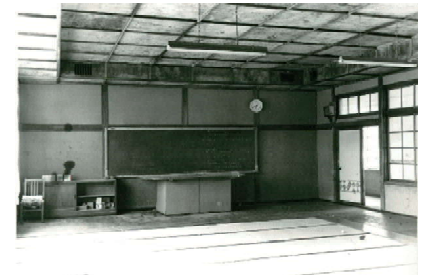
階段



廊下



教室



作法室（和室・家庭科使用）



職員室



廊下の窓と児童

1952（昭和27）年、新しい講堂が完成します。



1955 (昭和30) 年、給食調理室が完成します。



1956 (昭和31) 年から、給食が始まるよ!



阿閑小学校時代の学校生活や行事を写真で見てください。



運動会 1952 (昭和27) 年



朝の音楽 1956 (昭和31) 年



古宮浜水泳授業 1956 (昭和31) 年



校外学習 1956 (昭和31) 年  
本荘駅 (現播磨町駅) にて

昭和時代の播磨小学校 (町制施行以後)

1962 (昭和37) 年、町制施行により阿閑小学校から播磨小学校に名前が変わります。



いよいよ、播磨小学校に名前が変わったよ!



1969 (昭和44) 年、<sup>しょうわ</sup>新校舎<sup>ねん</sup> (木造校舎北側)<sup>しんこうしゃ</sup> が完成<sup>もくぞうこうしゃきたがわ</sup> します。<sup>かんせい</sup>



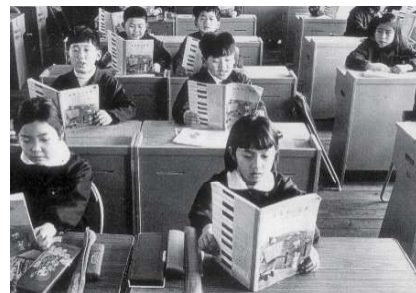
いま はりましようがっこうみなみこうしゃ  
今の播磨小学校南校舎  
になるよ。



<sup>いけ</sup>池のある中庭<sup>なかにわ</sup> 1975 (昭和50) 年



<sup>たいかん</sup>耐寒かけ足<sup>あし</sup> 昭和40年代



<sup>おんがくじゆぎょう</sup>音楽授業(音楽室)<sup>おんがくしつ</sup> 昭和40年代



<sup>きょうしつ</sup>テレビを教室に設置<sup>せっち</sup>  
1972 (昭和47) 年



<sup>かんせい</sup>プールが完成<sup>しょうわ</sup>  
1972 (昭和47) 年  
<sup>しゃしん</sup>写真は平成時代



<sup>そつぎょうしきご</sup>卒業式後のパレード  
1977 (昭和52) 年



<sup>たいいくかん</sup>体育館が完成<sup>かんせい</sup> (校舎右側)<sup>こうしゃみぎがわ</sup> 1978 (昭和53) 年

この頃の体育館は、木造  
校舎の陰に少し隠れてい  
るね。



1980 (昭和55) 年、<sup>しょうわ</sup>木造校舎<sup>ねん</sup> が解体<sup>もくぞうこうしゃ</sup> されました。<sup>かいたい</sup>

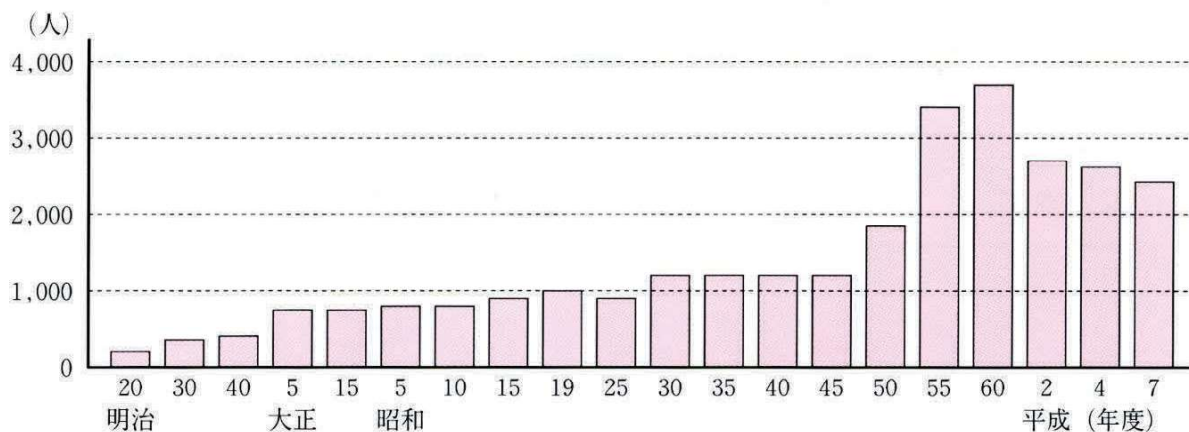


木造校舎がなくなると  
寂しくなるね。



で あ わか しょうがっこうぶん り じだい はりまきたしょうがっこうへいこう とうごう  
**出会いと別れ（小学校分離の時代～播磨北小学校閉校による統合まで）**

しょうわ ねんだい ねんだい はりまちょう ひと す がっこう じどう  
 昭和40年代・50年代には播磨町にたくさんの方が住むようになりました。学校の児童も  
 ふ ちか し ぞくぞく きょうしつ た なら かみつじょうたい はりまちょう  
 増え、近くの市は続々とプレハブ教室が建ち並び過密状態になりました。播磨町では  
 ちょうおよ きょういくいいんかい どりよく きょうしつ じどう せいと がくしゅう  
 町及び教育委員会の努力もあってプレハブ教室で児童・生徒を学習させることなく、  
 しょうわ ねん はりましょうがっこうしんこうしゃかんせい しょうわ ねん つぎつぎ あたら  
 1969（昭和44）年の播磨小学校新校舎完成、また 1974（昭和49）年からは次々と新し  
 い学校を建てるなど、小中学校の分離・独立によって対処してきました。そして 1983  
 しょうわ しょうがっこう しょうがっこう ちゅうがっこう にゅうがくしき で あ  
 （昭和58）年には5小学校・2中学校にまでなりました。しかし、それは入学式に出会  
 ともだち わか じだい すす こう しょうがっこう ごじどう かず  
 った友達との別れにもなりました。時代は進み5校もあった小学校は、その後児童の数が  
 へいせい ねん がつ はりまきたしょうがっこう へいこう れきし お  
 減り、2007（平成19）年3月に播磨北小学校が閉校となり、1つの歴史を終えることにな  
 ります。



播磨町小学校児童数の移り変わり



はすいけしょうがっこう  
**蓮池小学校**  
 しょうわ ねんかいこう  
 1974（昭和49）年開校  
 かいこうとうじ きたこうしゃ  
 開校当時は北校舎のみ



はりまにししょうがっこう  
**播磨西小学校**  
 しょうわ ねんかいこう  
 1976（昭和51）年開校



はりまきたしょうがっこう  
**播磨北小学校**  
 しょうわ ねんかいこう  
 1981（昭和56）年開校



はりまみなみしょうがっこう  
**播磨南小学校**  
 しょうわ ねんかいこう  
 1983（昭和58）年開校

あたら がっこう べんきょう  
 新しい学校で勉強できるのは  
 うれしいけど、ともだち はりま  
 小学校とお別れするのは悲し  
 かな  
 いよ。



2007 (平成19)年、**播磨北小学校**が閉校しました。**播磨小学校**でも**播磨北小学校**の児童を新しく迎え入れました。

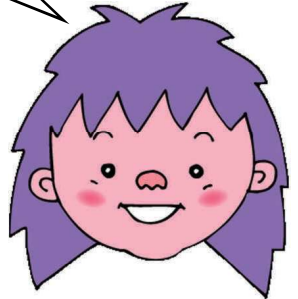


はりまきたしょうがっこう こうりゆうかい  
**播磨北小学校との交流会**  
 はりましようがっこうたいいっかん  
 (播磨小学校体育館)

ようこそ**播磨小学校**へ。  
 仲良くしようね。



はりまきたしょうがっこう へいこうまえ  
**播磨北小学校 (閉校前)**



平成時代～令和4年 (創立150年) まで



しぜんがっこうかいし へいせいがん ねん  
**自然学校開始 1989 (平成元) 年**  
 5年生が数日間家から離れて、宿泊  
 体験活動を行います。



しょうがっこう コンピュータ室ができる 1993 (平成5) 年  
 (1995 (平成7) 年、蓮池小学校にて撮影)

2000 (平成12)年、**播磨小学校**のクスノキが、**播磨町の指定文化財 (天然記念物)**になりました。



クスノキ れいわがんねんさつえい  
 令和元年撮影

播磨町の指定文化財になったんだね。すごいなあ。  
 1900 (明治33) 年、この場所に新しく学校が出来たのを記念して植えられたクスノキも、こんなに大きくなったよ。  
 いつも、はりまっ子を見守ってくれているよ。  
 みんなで大切に守っていきたいね。





総合的な学習の時間に外国語学習導入  
2006（平成18）年



プログラミング学習開始  
2020（令和2）年

2020（令和2）年、新しい給食棟が完成します。そして2021（令和3）年、播磨中学校との※親子給食が始まります。

※播磨中学校の給食も播磨小学校で調理し、専用トラックで配送



新給食棟には最新の調理道具が設置される

専用トラックで播磨中学校へ配送

2021（令和3）年、21世紀の社会を生きる力を身につけていくために、播磨町立小中学校では町教育委員会が児童生徒に1人1台のタブレット端末を整備し、学習に活用していくこととなりました。

1年生もタブレットで勉強しています。



2020（令和2）年～2022（令和4）年、コロナ渦による学校での学習・生活

コロナ第1波から約3年間。この間、緊急事態宣言からの休校、夏休み短縮、行事や体験活動の縮小・中止、外出制限、学校でのデジタル端末の導入など、小中学生の生活環境に大きな変化がありました。



コロナ渦では、教室・運動場・体育館すべてマスク着用

コロナ渦の給食時間は、グループ会食ではなく感染予防対策として、全員前を向きました。



楽しい給食だけど…。  
食べることに集中するようにしたね。

2022（令和4）年、播磨小学校150周年記念行事



シンボルイラスト（左）・スローガン・イメージキャラクター（右）

児童全員から募集した中から「150周年のスローガン」・「シンボルイラスト」・「イメージキャラクター」が決定しました。公正な審査を経て、みごと最優秀賞に選ばれたのは、いずれも当時の6年生の作品です。

2023（令和5）年3月3日、子どもたちが書いたメッセージ付きバルーンを飛ばしました。数日後には兵庫県内だけでなく、大阪・奈良・和歌山などから「メッセージが届きました。」という嬉しいメッセージが学校に届きました。



バルーン・リリース